

いこいのみぎわ
天路歷程 ジョン・パニヤン

第5話

2021年12月19日～12月25日 各家庭でのディボーション用テキスト

世才氏 初めにどうしてその重荷をしょいこんだのかね。

基督者 手に持ったこの本を読んだためで。

世才氏 そんなことだろうと思った。柄にもない高尚な事に手を出して突然乱心に陥る頭の弱い連中同様、君にもそれが起こったのだ。この乱心は、見たところお前さんのがそうだが、人をめめしくするばかりか、何かわけの分からぬものを手に入れようとする死にも狂いの冒険に乗り出させるのだ。

基督者 私には自分が手に入れたいと思うものが何だか分かっています。それは私の重荷がとれて楽になることです。

世才氏 だが、どうして君はそれほど多くの危険が伴うと分かっているながら、この道で楽になるのを求めようとするのかね。ことに、もし辛抱してわしの言うことを聞きさえすれば、この道で君が冒そうとする危険なしに欲しいものが手に入るよう教えてあげられるんだが。実際その方法は手近にあるのだ。おまけに、つけ加えて言うが、そういう危険の代わりに、多くの安全と友情と満足とに出会うであろう。

基督者 どうかこの秘訣を私に打ち明けてください。

世才氏 それはな、向こうの村に（その名は道德村というが）遵法者という名の紳士が住んでいる。非常に思慮深い、評判もよい人で、君のような重荷を肩からおろすのを助ける手腕がある。実際、私の知るところでは、この方面で大いに尽すところがあった。いやそればかりか、重荷のため頭がややおかしくなった人を直す手腕もある。今も言ったように、その人のところへ行ってすぐ助けてもらうがよい。家はここから一マイル足らず。もし本人が留守だったら、息子に丁重氏という名のいきな青年がいて、（ついでの話だが）その老紳士と同じくらいうまくやれる。そこで君の重荷をとって楽にしてもらうがよい。そしてもとの住居にもどる気がなければ（まあ実際わしも君にそうしてもらいたくはないが）この村に来よう奥さんとお子さんたちを呼びよせるがよい。そこには今空家があるが、その一つは安い家賃で借りられる。食べ物も安くて品がよい。君の生活を一そう合わせにすることは、そこでは確かに正直な隣人たちのそばで、信用され、りっぱな生活も送れるということだ。

さて、基督者は少し困ったが、やがて次のように判断した。もしこの紳士の言った事が本当だとすれば、最も賢明な方針は彼の勧めを受けることであると。それと共に彼はさらに話した。

基督者 このりっぱなお方の家へ行く道はどれでしょうか。

世才氏 向こうの高い丘【シナイ山】が見えるかね。

基督者 はい、とてもよく。

世才氏 その丘を歩いて行かねばならない。最初に行きついた家が彼の家だ。

そこで基督者は遵法者の家に行って助けを求めるため、回り道をした。ところが見よ、いよいよ彼が丘のすぐ近くに来てみると、丘は非常に高く思われ、また路傍のすぐ近くの側は道にのしかかっていたので、基督者は丘が頭上に落ちて来はしないかと恐れて、それ以上冒険しなかった。それで彼はそこに立ち止まって、どうしてよいか分からなかった。今や重荷は道を歩いていた時よりも一層重く思われた。また丘から火が閃き出して【出 19 : 18】、焼かれはせぬかと基督者は恐れた【出 19 : 16】。それ故ここで汗をかき、恐れのためにふるえた【ヘブ 12 : 21】。今や彼は世才氏の勧めを受け入れたことを後悔し始めた。それと共に伝道者が彼に会おうとやって来るのが見えた。その姿を見ると彼はまた恥ずかしさで赤面し始めた。かくて伝道者は次第に近づいた。そして彼の所へやって来ると、きびしく恐ろしい顔つきで彼を眺め、次のように基督者に説きつけ始めた。

伝道者 お前さんはここで何をしているのかな。

その言葉を聞いて基督者は何と答えてよいのか分がらなかった。それで今や彼は言葉もなく彼の前に立った。すると伝道者はさらに言うのであった。君は滅びの都の城壁の外で泣いているのをわしが見つけた者ではないか。

基督者 はい、私とその男でございます。

伝道者 小さなくぐり門へ行く道を君に教えたではないか。

基督者 はい、さようでございます。

伝道者 ではどうしてそんなに早く道からそれてしまったのかな。君は今道はずれているのだ。

基督者 私が落胆の沼から上りますとすぐ一人の紳士に会いました。すると前方の村で私の荷を取りのけることのできる人が見つかるだろうと説きつけました。

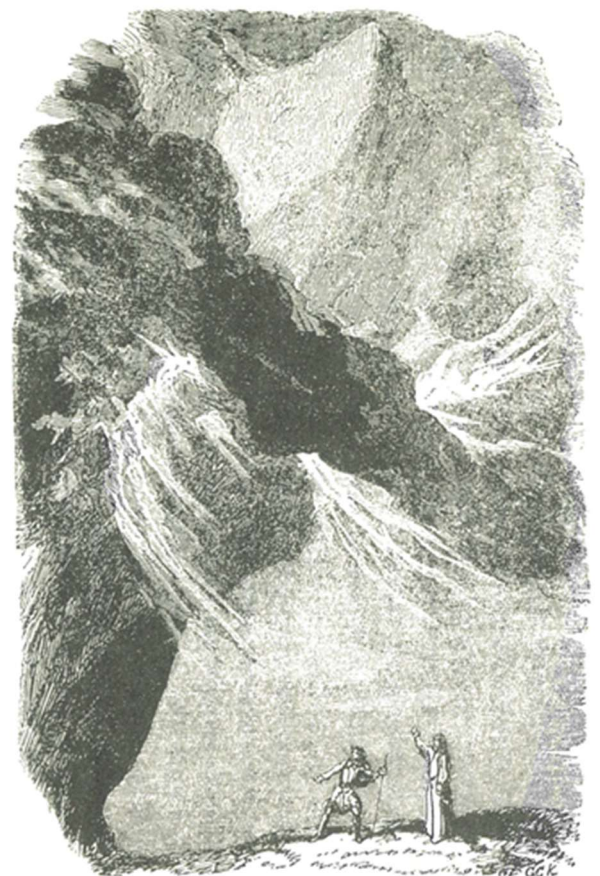
伝道者 それはどんな人だったかね。

基督者 紳士風の人で、私にいろいろと話しました。ついに私を従わせたのです。それでここへやって来たのですが、この丘が道にのしかかっているのを見たとき、頭の上に落ちて来はしまいかと急に立ち止まったのです。

伝道者 その紳士は君に何と言ったのかね。

基督者 どこへ行くのかと尋ねましたので、答えました。

伝道者 それから何と言ったのかね。



伝道者は基督者をシナイ山の下に見出す

【ジョン・バニヤン 天路歷程 正篇 より】

※この本は図書に置かれています。さらに読みたい方はどうぞご利用下さい。